

# はにの里菅谷協議会 地域づくり計画



スポーツフェスタ



フォトコンテスト



移動販売利用

2024年 2月

## はにの里菅谷協議会 地域づくり計画策定にあたって

平成29年1月29日に設立したコミュニティは『はにの里菅谷協議会』と命名されました。

暮坂、福見、平田、荒木、細見の5つの集落で、かつては菅谷小学校校区であり多くの人々の声が谷間にこだましていました。平成10年廃校となったその跡地で特に公民館事業を継承しながら、運動会、文化祭そして人づくりに関する事業や地域の文化事業につて、地域の方々にご協力を頂きながら進めていくことが出来ました。一方で、少子高齢化が年々進行し地域課題が山積してその課題解決にむけた取り組みが必要となってきました。

持続可能な地域づくりを進めていくために、新しい地域づくり計画の策定が必要となり、何をどうすればよいのか？地域の皆さんはどのように考えておられるのか？住民アンケートで地域の意向を確認しそれらをもとに課題やアイデアを出し、協議を深めてきました。

ご支援、ご協力を頂きました検討委員の皆さん、役員の皆さん、事務局の皆さん、「ちいきのて」の青柳さん大変お世話になりました。そして菅谷地区の皆さん、ありがとうございました。改めてお礼申し上げます。

地域づくり計画検討委員会 委員長 杉本武己



2023 フォトコンテスト 大賞  
「獲物発見」前田 忠雄 さん(福見)

## 目 次

1. 地域づくり計画策定の背景
2. 菅谷地区の概要
3. 菅谷地区の現状
4. 菅谷地区の資源/不安・困りごと
5. 菅谷地区の将来像
6. 将来像実現に向けて必要な取り組み
7. 今後の課題

## 1. 地域づくり計画策定の背景

はにの里菅谷協議会は、平成 29 年 1 月 29 日に設立され、約 6 年間様々な活動を行ってきました。特に、地域の方同士がコミュニケーションをとることのできる活動に注力し、多くの事業を実施しました。

一方で、2020 年から蔓延した新型コロナウイルス感染症の影響で、直近 3 年程度はコミュニケーションを密にとるような事業に制限がかかり、思うような事業実施ができない状況でした。

その中で、今一度立ち止まって地域の方の声や地域の現状を把握しながら、次の活動を考える機運が高まりました。

このような状況を踏まえ、今までの活動を生かしつつ、より地域の実態に即した活動ができるように今回地域づくり計画を策定することとなりました。

策定にあたっては以下の通り会議やワークショップを実施し、内容を取りまとめました。

	日にち	協議内容
第 1 回	令和3年11月 6日	地域づくり計画とは
第 2 回	令和 4 年 1 月 29 日	アンケートの内容等協議
第 3 回	3 月 5 日	アンケートの対象者、期間、配布、回収方法の確認
第 4 回	4 月 21 日	アンケート集計、入力、内容、配布回収方法の確認 4月～5月にかけてアンケートを実施
第 5 回	6 月 11 日	アンケートの集約
第 6 回	8 月 5 日	アンケート結果の報告と公表
第 7 回	9 月 24 日	今後アンケートを基にして部会員の皆さんの意見を聞く
第 8 回	11 月 24 日	検討委員の報告と役員全員による検討
第 9 回	令和 5 年 2 月 15 日	福祉部、人づくり部による部会別ワークショップ
第 10 回	2 月 22 日	総務振興部、防災部による部会別ワークショップ

## 2. 菅谷地区の概要

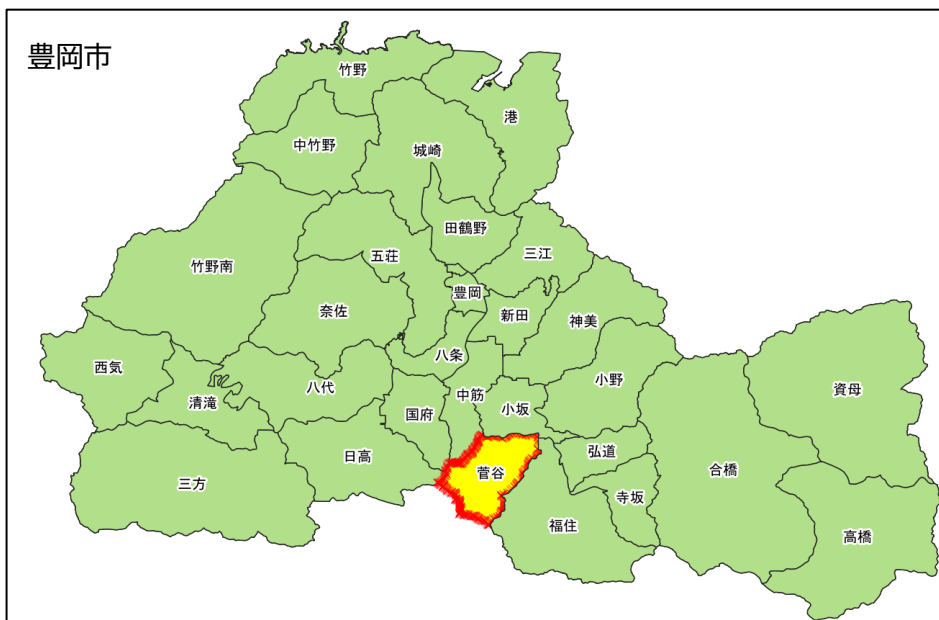
菅谷地区は、豊岡市の南東部、出石町の南西に位置する。当地区はそのほとんどが農業地帯と山林であり、集落も5地区に点在し豊かな農村風景を醸し出しているが、細見地区には新しい住宅団地(室見台団地)が存在している。ただ少子高齢化が進んでおり、将来的な集落の維持・運営が懸念されています。

数珠回し、秋祭り、どんど等の伝統行事、農村歌舞伎の襖絵、しみずけの清水、観音寺ため池、多田弥太郎顕彰碑、細見・荒木にある須義神社とご神木、荒田神社、鶴山、荒木城跡など史跡等は多くあるが、観光客を誘致できる資源とまでは言えない状況である。

農業が主たる産業であるが、耕作放棄田も存在し、農業に大きな不安がある。地域内の公共施設は菅谷地区コミュニティセンターのみであり、平成10年に菅谷小学校が福住小学校に合併統合され、子どもたちの通学は路線バスを利用している。

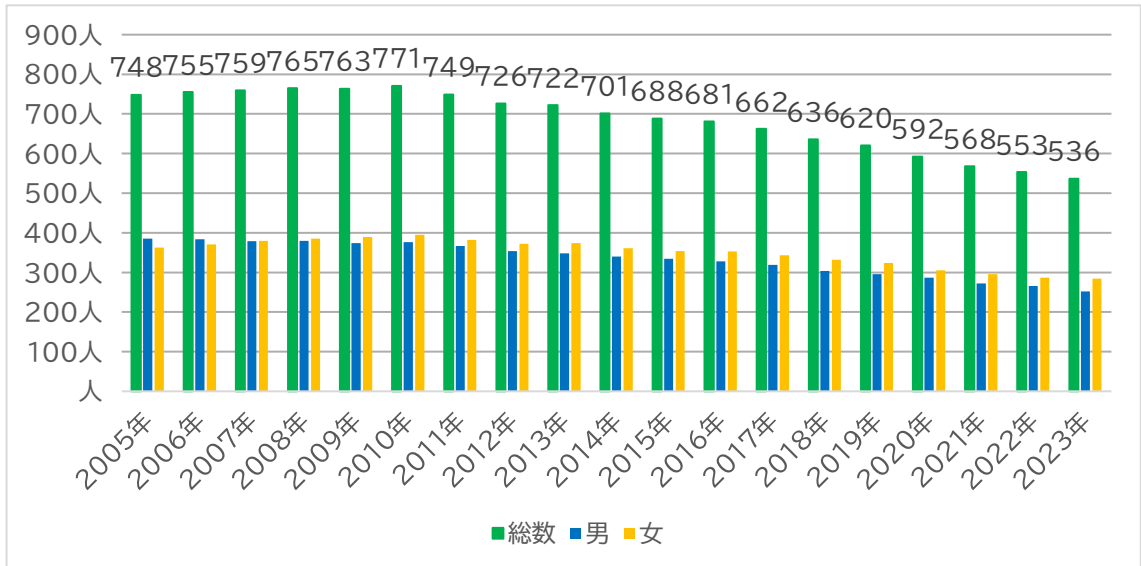
2023年4月1日現在

人 口： 536人  
世 帯 数： 218 世帯  
集 落 数： 5集落(暮坂区、福見区、平田区、荒木区、細見区)  
高齢化率： 39.9%



### 3. 菅谷地区の現状

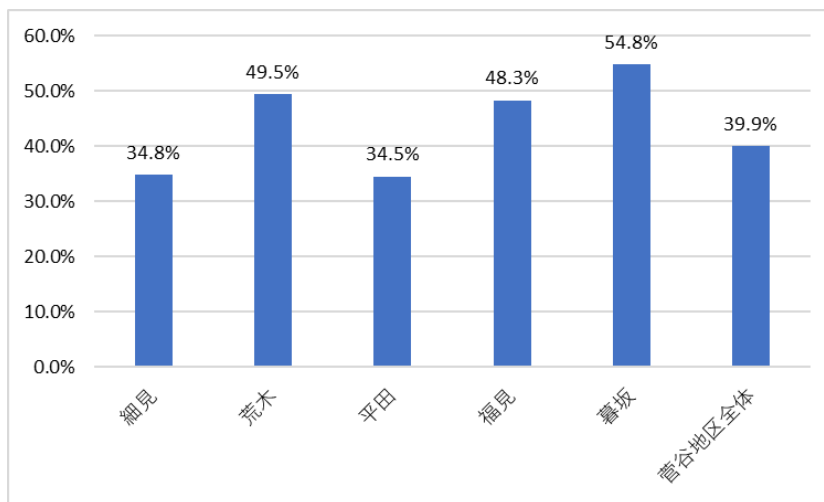
菅谷地区の人口推移は以下の通りです。



※住民基本台帳より。各年4月30日。精和園は含まず。

2005年から2023年を年毎で見ると、2010年の771人がピークとなっており、その後13年のなかで約235人減っていることが分かります。また、性別で確認すると2008年頃まで男性の方が多くもしくはほとんど差がないように見えますが、2009年に女性が多くなってから以降、2023年まで女性の方が多い地区となっています。さらに、男性は2005年から2023年までの間は減少もしくは横ばいですが、女性は2005年～2010年は増えており、その後減少に転じています。

次に2023年4月30日における高齢化率です。



※住民基本台帳より。精和園は含まず。

菅谷地区全体では、約39.9%となっており、5人に2人が65歳以上であることが分かります。区ごとに確認すると、細見・平田は35%前後と平均より低く、暮坂が約55%と一番高い数値となっています。2022年の日本全体の高齢化率は29.1%となっているため、すべての区において日本全体よりも高齢化率が高いことが分かります。

次に、菅谷地区の主要な施設等です。

幼稚園		保育所		認定こども園		小学校		中学校	
名称	人数	名称	人数	名称	人数	名称	人数	名称	人数
なし		なし		なし		なし(福住小学校区)		なし(出石中学校区)	

高校・大学等	診療所	歯科	食料品店	コンビニ	警察等	郵便局	公共交通
							全但・出石八鹿線

JA		但馬銀行		但馬信金		指定緊急避難所	AED設置個所
店舗	ATM	店舗	ATM	店舗	ATM		
						菅谷地区コミュニティセンター 出石健康福祉センター	菅谷地区コミュニティセンター 関ロビー
その他金融機関		福祉施設					
		出石精和園(成人寮)					

\*豊岡市オープンデータ(社会福祉施設) R3.10月21日時点

\*指定緊急避難所一覧(豊岡市HP)令和4年2月15日時点

\*豊岡市内のAED設置施設について(豊岡市消防本部HP)令和3年6月時点

次に菅谷地区内の各区の活動状況です。

	自主防災組織の有無	サロン喫茶	玄さん体操	支え合いの地域づくり活動	見守り活動
細見	●				●
荒木	●				●
平田	●	●			●
福見	●	休止			●
暮坂	●	●		●	●



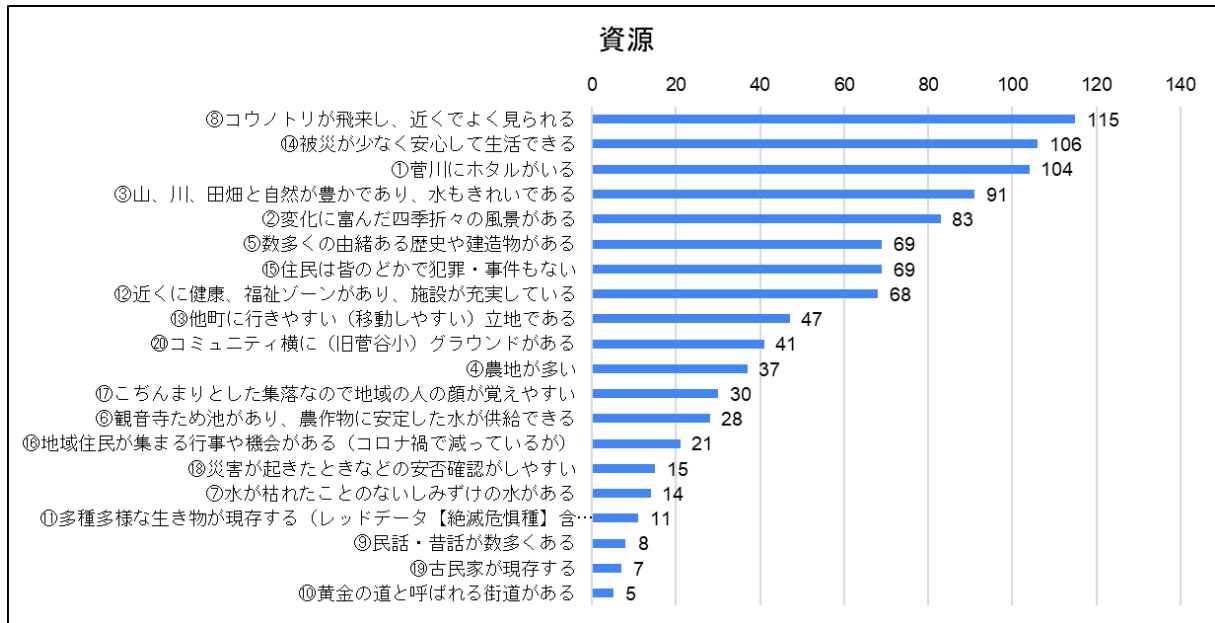
喫茶スマイルはにの里



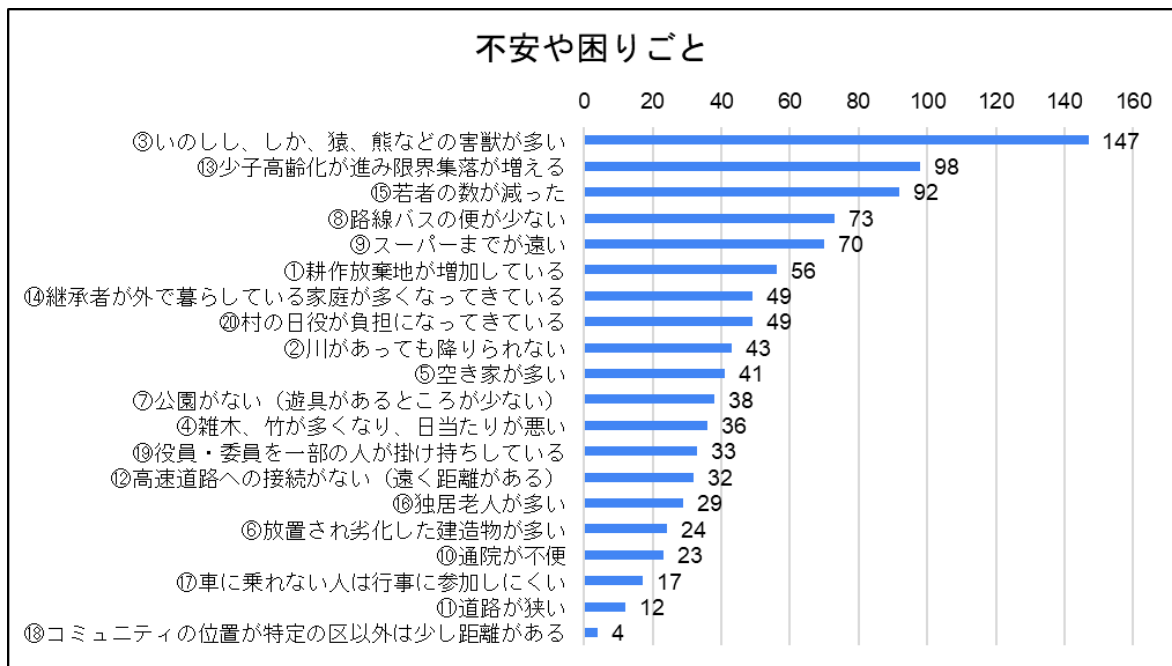
独居老人宅訪問用のミニ門松づくり

## 4. 菅谷地区の資源/不安・困りごと

菅谷地区の資源/不安・困りごとを、地域のみなさんにアンケートにて回答いただきました。資源は以下の通りです。



コウノトリやホタルなどの自然環境と共に、災害が少なく安心して生活できることを地域の資源だと感じられている方が多い状況です。次に不安、困りごととは以下の通りです。



不安、困りごとでは獣害についてが一番多く、突出していることが分かります。次に、限界集落や若者減少による不安困りごとが多くなっています。



## 5. 菅谷地区の将来像

菅谷地区では、現状を踏まえ、以下の通り 10 年後の将来像を描きました。

# お互いを思いやることができる

# きれいで環境が良い地区

### ① 自然の魅力あふれる菅谷

- ・鶴山とコウノトリを大切にしてお人と自然が調和の取れた地域にしていく。
- ・一度途絶えた人とコウノトリのかかわり、人と自然のかかわりの創り直し、里の鳥だったコウノトリを通してのライフスタイルを見直すなど、「地域再生」を試みる。

### ② ふるさとの誇りを育む菅谷

- ・多田弥太郎や鶴山とコウノトリなどの言い伝えを掘り起こし、地域の史跡や歴史を学び地域の誇りを育んでいく。

### ③ 安全で安心して暮らせる菅谷

- ・異常気象が頻発している昨今ですが、観音寺ため池など常日頃から、現場を見て、確認をして、草刈りなどを行い、防災意識をたかめていく。

### ④ 一人ひとりが参加できる菅谷

- ・一人ひとりが主体的に自主的に参加できる環境を整えていく

また、検討する際に様々な意見が以下の通り出ました。

<p>自然環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無人農機が稼働し省力化農業が行われている</li> <li>・耕作放棄されている田畑を地域の人で共同耕作しているといいな！</li> <li>・体験農業ができる</li> <li>・イノシシ、シカ、クマなどの動物からの農作物を守る対策を検討して欲しい！</li> <li>・花がいっぱい・自然を利用したグランピングリゾート地・遊歩道、サイクリング道があったらいいな！</li> <li>・道路の雑草がない・害獣が出ない地区・放棄田の改善</li> <li>・山の景色がきれいなところに誰でもいける</li> </ul>
<p>交通立地</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこかに ATM・コンビニがあったらいいな！</li> <li>・車の運転ができない人が増えるので地域で運営するミニタクシーが走っているといいな！</li> <li>・自動運転、公共交通が運行され、みんなの足が確保充足している</li> <li>・電車が走ってほしい</li> <li>・交通の便が良い・道路がいっぱい(裏道が欲しい)</li> </ul>
<p>くらし・人交流</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見返りを期待しない ・老若男女関係なく仲良く過ごす</li> <li>・ボランティア精神にあふれた地域</li> <li>・人の顔色を窺わなくてもイイ</li> <li>・人ごとにせず自分が色んな事に興味を持つ</li> <li>・農業、観光、医療、福祉…色々な分野で働く多国籍な人たち</li> <li>・若者が参加できる事業を考える</li> <li>・川遊びができる・高齢者が住みよい</li> <li>・外国の人たちが地域の人たちに溶け込み暮らしている</li> <li>・女性区長さん、女性消防団員さん、女性が活躍する菅谷の地</li> <li>・近所づきあいがとても良い！</li> <li>・他地区の人から「いいなあ～」「良い地区だなあ～」「住みたいなあ～」と羨望のまなざしで見られる地区の姿になりたいなあ～</li> <li>・子どもたちが遊べる場所がある・あずま屋で憩いの場をつくる</li> <li>・バーベキュー大会で毎年盛り上がる</li> </ul>
<p>振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省力化農業で稲作の他、そば栽培で出石そばの自前産地に</li> <li>・観光施設が何かできて観光客が立ち寄っているといいな！</li> <li>・古民家カフェがあったらいいな！</li> <li>・グラウンドゴルフ場を作る</li> <li>・イルミネーションを飾る、イチョウの木イルミネーション</li> <li>・さくらの木にちょうちん</li> </ul>

## 6. 将来像実現に向けて必要な取り組み

### ① 環境問題に取り組む

- ・環境問題を、コウノトリの生き様を通して考え、取り組んでいく。
- ・地域の荒廃を防ぎ、里山、田園風景を守っていく。
- ・耕作放棄地の増加を減らしていく為の対策を検討していく。
- ・菅川にホタルがいる事をアピールしていく。

### ② 地域の歴史・文化を知る取り組み

- ・多田弥太郎の足跡をたどり、地域の歴史を知り、地域の誇りを育んでいく。
- ・学習会、講演会、フォトコンテストなどを行い、興味・関心を持ち続ける。
- ・菅谷地区の文化と伝統を掘り起こし、継承していく。

### ③ 災害時に備えた防災訓練の実施

- ・防災訓練を実施し、地域住民の防災意識を高めコミュニケーションを図り災害時に強い組織をつくる。

### ④ グラウンド整備・有効活用

- ・旧菅谷小学校の跡地であるグラウンドを大切に有効活用していく。

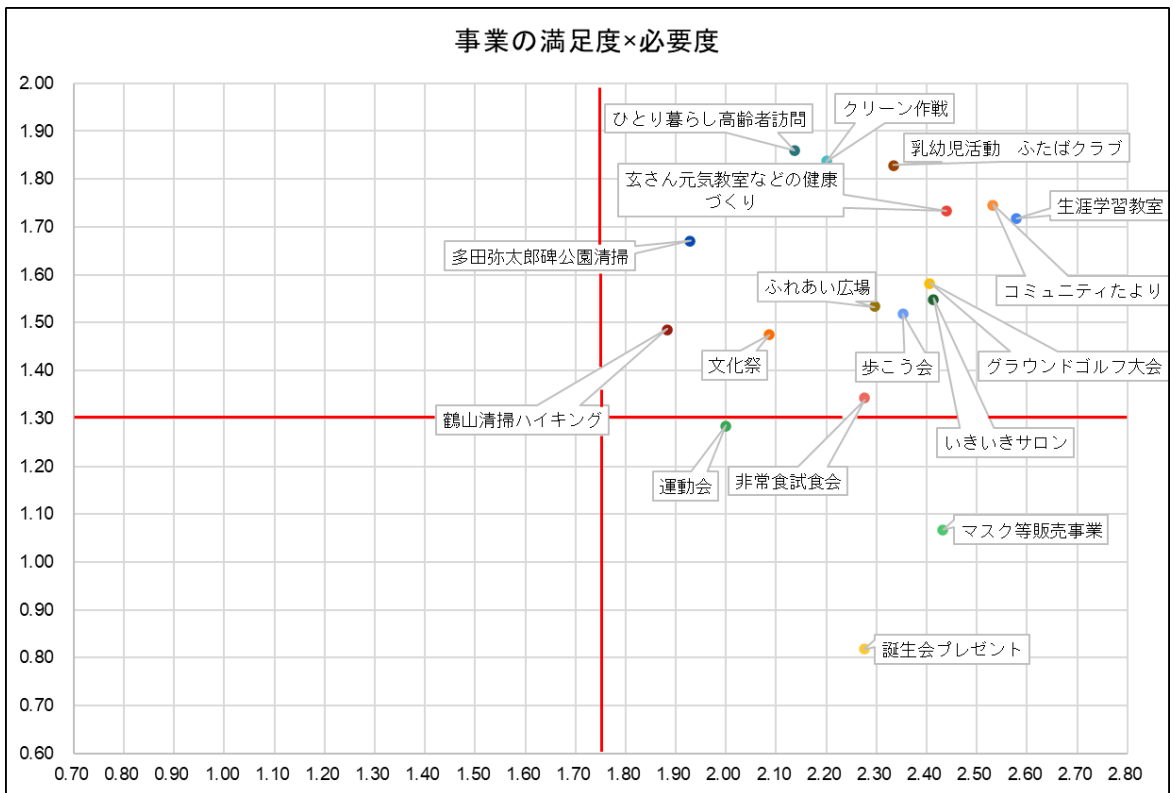
### ⑤ スポーツフェスタなどを通して地域の活性化を 推し進めていく

- ・子供からお年寄りまで誰でも参加でき、自主的で主体的なイベントとして取り組んでいく。

### ⑥ コミュニティ活動による地域の方々の交流

- ・サロンや独居老人宅訪問により、きめ細やかな交流を深めていく。
- ・移動販売車による買い物支援を継続・拡大して行い、充実したものにしていく。
- ・ふれあい広場を通じて多世代の交流を深めていく

前述の将来像実現に向けて、まずは既存事業の見直しをアンケートにて以下の通り行いました。



本グラフは縦軸を必要度・横軸を満足度として分析したものです。右上にある事業ほど満足度・必要度ともに高く、左下にある事業ほど満足度・必要度ともに低い状態です。また、右下に幾らかの事業が入っていますが、ここは満足度が高いものの必要度が低い状態です。



← ワークショップ  
福祉部・人づくり部

ワークショップ →  
総務振興部・防災部



次に新規取組みアイデアとして以下のご意見が出ました。

No	項目	内容	すぐ	重要
1	課題	農家じゃない人にも農業を手伝ってもらおう	2	2
2	課題	草刈り隊をつくる	2	
3	課題	かぼちゃを作ろう（栽培）	1	
4	課題	有志による組織を編成し耕作放棄地を耕作する		1
5	課題	営農組織の共同管理地とする	1	
6	課題	四季に応じた花を植えて入園料を徴収する		1
7	課題	花などを植えたが世話人がいなく管理ができない		
8	課題	耕作をしない人に地区の特別な税金化		
9	課題	農業体験教室、ワークショップをする（都会の人を対象）		
10	課題	耕地整理をする		
11	課題	朝倉サンショ、岩津ネギ等栽培する		
12	課題	インターネットなどで募集する		
13	課題	ノーブレンステップなら設置できる	1	
14	課題	川に降りるはしごを作る イベントで作る川遊び	1	
15	課題	コンクリートで足元を整備して水辺公園のようにする		1
16	課題	県土木にお願いし改良してもらおう 河積の影響と考える		
17	課題	要所要所にはしご状のものが欲しい		
18	課題	水汲みしたりすることができない 農機具などが洗えない		
19	課題	降りられるところをつくる		
20	課題	菅谷の区の捕獲頭数を競い合う		1
21	課題	豊岡市に依頼し罠による駆除が良い 効果あり		1
22	課題	害獣の駆除対策ネットで囲う		
23	課題	減らす対策が必要		
24	課題	広域で鉄網をして防ぐ とって食べる		
25	課題	駆除が必要		
26	課題	動物ごとに囲い込み飼養管理コントロールする		
27	課題	地区全体を囲むように柵を作る（電気の柵）		
28	課題	鹿などが民家の中から出てくる 住みついている		
29	課題	地区・地域を毎年決めて伐採を取り組む		1
30	課題	買ってくれる業者が近くにあれば良い		1
31	課題	秋になると紅葉がきれいな樹木を植えて公園にして入園料を徴収する		1
32	課題	伐採する企業のCSR活動を誘致する		
33	課題	日当たりが悪い雑木を切る		
34	課題	松茸山の整備		
35	課題	子どもたちに帰ってきてもらおう 農地付きで移住者に売る		2
36	課題	移住者を募集する		2
37	課題	空き家で避難場所となる所を市とともに借り上げできないか		1
38	課題	空き家が古くならないうちに継承者と管理方針について話す		
39	課題	カフェを作る		
40	課題	きれいに整備し貸出する		
41	課題	継承者と話ができた空き家から管理下に置き常日頃からメンテナンスを怠らない		
42	課題	管理リストに収載する空き家を市のデータリストに登録していく		
43	課題	空き家が多くても地区によっては入ってくれる方がいない		
44	課題	劣化した建屋はグループ化して管理対処方針を探る		

No	項目	内容	すぐ	重要
45	課題	遊具がなくても走り回れる広場の整備	1	2
46	課題	無料で利用できる遊具（ボール・自転車など）	1	
47	課題	コミュニティグラウンドに遊具を設置	1	
48	課題	管理しやすい簡易な遊具を選び設置する		
49	課題	旧小学校時の裏山（スキー場）を利用した遊び場整備		
50	課題	コミュニティに遊具を集める		
51	課題	コミュニティ直営のバスを限られた範囲内で運行する		1
52	課題	ノーマイカーデーで利用者を増やす バスに乗るイベントをする		
53	課題	移動販売		2
54	課題	移動販売をしてほしい	1	
55	課題	コミュニティとかに移動スーパーに来てもらう		
56	課題	コミュニティでネットの買い物代行をする		
57	課題	裏道を作る		2
58	課題	行政に陳情する		
59	課題	火事などが起こった時に消防車が入れない		
60	課題	一方通行とか地域内でルールを決める		
61	課題	子供が外で暮らしているため独居家庭が多くなっている		
62	課題	継承者に今後の話をしっかりする 帰郷体験		
63	課題	海外移住者を増やす 医療従事研修員として受ける		
64	課題	老人が集まるそして一緒に暮らす交流ホーム		
65	課題	行事の時には送迎バスを出す		
66	課題	乗り合いタクシーなど利用する		
67	資源	行事をする時は送迎担当の係を作り送迎する		
68	課題	来れない人のために出張イベントをする		
69	課題	村でする作業を少なくする		2
70	課題	役員・委員を減らして負担をなくす		2
71	課題	ずっと毎年毎年役員をすることになる		
72	課題	立候補制にする 行事参加者の中から一本釣りする		
73	課題	ボランティアの出役者が欲しい	1	2
74	課題	コミュニティで広域的に取り組む		1
75	課題	業者や行政に委託できるものは委託する		
76	課題	義務になっている		
77	資源	ホタル祭り		2
78	資源	菅川のホタルが見える公園を作り入園料をもらう		1
79	資源	ホタルの餌カワニナの養殖 但東町相田で取り組んでいる		1
80	資源	ホタル生息地をアピールする看板をつくる		
81	資源	ホタルを見に来てもらう夜店を出す		
82	資源	菅川にホタルがいるため田んぼに農薬を使わない		
83	資源	ホタル保護活動をしてホタル観賞会をして他地域の方に来てもらう（料金徴収）		
84	資源	四季の写真コンテストを開催する	1	3
85	資源	風景写真コンテスト開催		2
86	資源	お花見会・紅葉狩り		1
87	資源	景観の良い所を写真クラブや絵画クラブに紹介して撮影やスケッチに来てもらう		
88	資源	県道沿いの田畑は常に管理する		1

No	項目	内容	すぐ	重要
89	資源	紅葉のきれいな所をライトアップできるように整備して料金を徴収する		1
90	資源	ワサビ栽培する		
91	資源	PRして移住子育て増やす		
92	資源	農業体験会を催して農業移住者を募集する	2	1
93	資源	野菜作り体験をする	1	1
94	資源	農地の貸し出し	1	
95	資源	体験型農園を運営	1	
96	資源	所々に花を咲かせてはどうか		1
97	資源	説明会等により周知する		
98	資源	歴史や建造物についてパンフレットを作成		
99	資源	由緒ある歴史や建造物を調べもっと深く知っていくようにしていく		
100	資源	地区でなく地域全体で保全するようにする		
101	資源	年に一回程度土用干しをしたらよい		
102	資源	観音寺ため池を憩いの場として整備する	1	2
103	資源	ため池を釣り堀化する	1	1
104	資源	遊泳はダメだが道沿いに看板を設置（写真付き）	1	
105	資源	ため池を整備して観光に来てもらえるように公園化する		
106	資源	有効利用 ゴルフの打ちっぱなし、太陽光発電等		
107	資源	水車発電でコミュニティの電気を賄う		
108	資源	しみずけの水の成分を調査し由来などを記載したパンフレットを作る		
109	資源	「鶴見茶屋」を復刻する	2	
110	資源	鶴山をもっと大々的に宣伝する		1
111	資源	コウノトリが松に巣作りするように対策を立て環境を整備する		
112	資源	コウノトリ農法を増やす コウノトリの巣塔を作る		
113	資源	昔話・民話を聞く場を作る	1	
114	資源	「菅谷のおはなし」昔話集を編集する	1	
115	資源	昔話など文化祭で行う		
116	資源	黄金の道の由来を紹介説明したパンフレット		
117	資源	「生き物さがし」どんな生き物がいるか図鑑を作る	4	
118	資源	菅谷で発見されていない生き物を見つけると賞金が出る		1
119	資源	生き物の生息地の地図作り		
120	資源	菅谷に生息する動物の生態を説明した看板を生息しているであろう所に設置		
121	資源	住みやすい		1
122	資源	他町に行く新しい道路バイパスを作る		
123	資源	PRして定住者を増やす		
124	資源	再編集して移住者後継者にきてもらう（13.15.16.17.18）		
125	資源	古民家を若者に貸す	2	2
126	資源	古民家レストラン開店	1	1
127	資源	空き家古民家の持ち主とまず交流する		1
128	資源	古民家カフェしたい人に売る		
129	資源	古民家を改修し移住者を募る		
130	資源	何かに利用する		
131	資源	グラウンド周辺を整備して憩いの場としていく	2	
132	資源	グラウンドをゴルフ場にする		1
133	資源	グラウンドの有効利用 貸し出し		

これらの意見を踏まえて、実際に行っていく事業を検討しました。

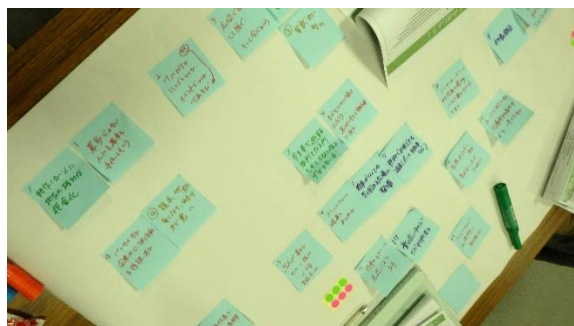
	課題・資源の内容	取り組みアイデア	時期			実施後の姿	部会	備考
			すぐやる	3～5年後	5年後以降			
お互いを思いやることができるきれいで環境が良い地区	山、川、田畑と自然が豊かであり、水も綺麗である。	草刈り	●			地域の自然や文化がきれいに保たれ続けている	総務振興	清掃だけではなく、文化的な勉強や魅力創出も行って発展させる
		クリーン作戦	●					
		鶴山清掃	●					
		鶴山ハイキング	●					
		多田弥太郎碑公園清掃	●					
	コミュニティ横に（旧菅谷小）グラウンドがある	グラウンドの整備・有効活用・貸出	●			コミュニティ周辺が地域内外の方の集いの場として機能している	総務振興	有料ドッグランなども検討できるかも
	こぢんまりとした集落なので地域の人の顔が覚えやすい	地区運動会	●			様々な事業を通して地域の方同士のコミュニケーションがとれている	人づくり	
		歩こう会	●					
		スポーツ事業	●					
		ふれあい広場	●					
	独居老人が多い	研修会の開催	●			独居老人も安心して暮らしている	福祉	
		独居老人宅訪問	●					
	スーパーまで遠い	移動販売/買い物ツアー	●			誰もが不自由なく買い物できている	福祉	社協貸出車両利用検討 コープ個配の告知
		ネットでの買い物の代行/買い物できるような講座開催	●				福祉	料金・仕組みは要検討 スマホで注文し買い物支援につなげる
	車に乗れない人は行事に参加しにくい	送迎を検討する	●			誰もが不自由なく地域の行事に参加できている	福祉	過度な負担にならないように
	民話・昔話が数多くある	昔話などを文化祭で行う	●			地域の文化が継承できている	人づくり	
変化に富んだ四季折々の風景がある	写真コンテストの開催	●			写真を通して地区の良さを再認識できている	人づくり	ゆくゆくはスケッチやお花見会・紅葉狩りも検討する	
耕作放棄地が増加している	インターネットで耕作者を募集する		●		少しでも耕作放棄地が減っている	総務振興		
菅川にホタルがいる	ホタル生息地をアピールする 看板をつくる			●	地域の魅力が地区内外の人にアピールできている	人づくり		
耕作放棄地が増加している	朝倉サンショ、岩津ねぎ、かぼちゃ、そば等栽培する			●	少しでも耕作放棄地が減っている	総務振興		

※時期については、実施のみではなく検討も含んだものとする。



また、ロードマップには含まれないものの、以下の通りの意見も出ました。

課題・資源内容	取り組みアイデア	参考意見
コミュニティ位置が特定の区以外は少し距離がある	来れない人のために出張イベントをする。	
独居老人が多い	老人が集まる、そして一緒に暮らす交流ホーム	
公園がない (遊具があるところが少ない)	無料で利用できる遊具 (ボール・自転車等)	
路線バスの便が少ない	コミュニティ直営のバスを限られた範囲内で運行する	社会福祉協議会が福祉車両の貸し出しをしている。 今後利用料は検討していく。
放置され劣化した建造物が多い	劣化した建屋はグループ化して管理 対処方針を探る	
被災が少なく安心して生活できる	PRして定住者を増やす	・田舎暮らし 豊岡市No.1 ・外国人に農業者体験
空き家が多い	空き家が多くても地域によっては入ってくれる方はいない	
	カフェを作る	
	空き家で避難場所となる所を市とともに借り上げできないか	・避難場所にならない所が空き家に
	移住者を募集する	・空き家がどれだけあるか調べる (個人情報に注意) ・空き家件数の確認 一覧表などを作る
	子ども達に帰ってきてもらう 農地付き移住者に売る	・子供たちに農地は必要ない
道路が狭い	一方方向とか地区にあうルールを決める	消防車が大きくなり、火事などがおこったときに消防車が入れない
道路が狭い	裏道を作る	行政に陳情している



## 7. 今後の課題

今後はできることの検討や実施を行う中で、より多くの方に参画いただく仕組みを作っていく必要があります。特に、生活に直結するような課題については、より深く地域のニーズを把握し、無理なく進めていく必要があるため、地域住民だけではなく、事業者や地区外の方とも連携を図っていく必要があります。そのためには、今菅谷地区ではどのような動きをしているのか、情報発信していく必要もあります。

現在、月に1回全戸配布しているコミュニティたよりを中心に、各種チラシや防災無線、Facebook を使って活動についての紹介や募集等を行っていますが、更にリーチを増やしていくために SNS の活用等をより活発に行っていく必要があります。それらは、事務局のみ広報を実施するのではなく、参加された方や部に所属されている方などと連携しながら「#(ハッシュタグ)」をうまく使い地域をアピールしていくことも重要となっていきます。

いずれにせよ、菅谷地区の住民みなさんが無理なくかつ楽しく地域課題解決や地域資源活用ができるよう、適宜話し合いの場を設けながら事業展開を行っていく必要があります。

